

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成30年 3月20日

計画の名称										弘前市における循環のみちの実現 (重点計画)			重点計画の該当		○								
計画の期間					平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)			交付対象		弘前市													
計画の目標																							
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																							
計画の成果目標 (定量的指標)																							
①下水道区域内普及率を96.2% (H28当初) から96.4% (H32末) に増加させる。																							
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考										
①下水道区域内普及率 処理人口 (人) / 下水道区域内行政人口 (人)										当初現況値 (H28当初)		中間目標値 (H30末)		最終目標値 (H32末)									
										96.2%		96.3%		96.4%									
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		2,304百万円		A	2,304百万円		B	0百万円		C	0百万円		D	0百万円		効果促進事業費の割合		0.0%			
交付対象事業																							
A 基幹事業																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)		市町村名			事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A-1	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	分流	新設	弘前処理分区枝線		污水管φ50~200mm L=8.1km		弘前市			H28	H29	H30	H31	H32	600			
A-2	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	分流	新設	岩木処理分区枝線		污水管φ50~150mm L=0.4km		弘前市								14			
A-3	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	分流	新設	百沢処理区		処理場 N=1箇所、污水管φ150mm L=9.5km		弘前市								1,250			
A-4	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	分流	新設	常盤野処理区		処理場 N=1箇所、污水管φ150mm L=3.8km		弘前市								370			
A-5	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	分流	全種	調査・設計等		污水管、処理場調査、設計等		弘前市								70			
合計																			2,304				
B 関連社会資本整備事業																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容 (延長・面積等)		市町村名			事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
														H28	H29	H30	H31	H32	0				
合計																			0				
C 効果促進事業																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容		市町村名 港湾・地区名			事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
														H28	H29	H30	H31	H32	0				
合計																			0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (面積等)		市町村名			事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
														H28	H29	H30	H31	H32	合計				
合計																							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考			

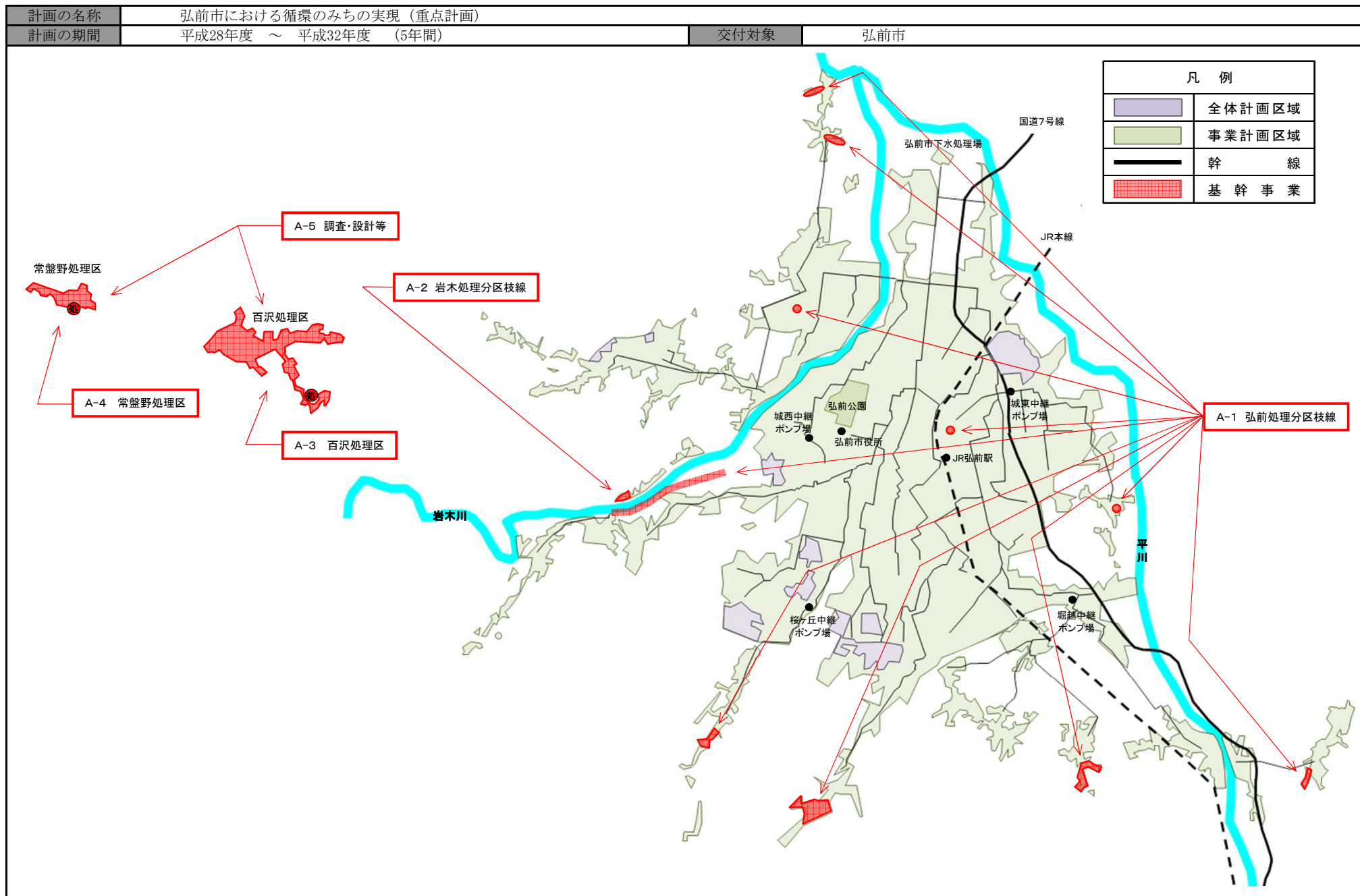
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	180.0	245.3	347.96		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	180.0	245.3	347.96		
前年度からの繰越額 (d)	84.15	97.001	105.55		
支払済額 (e)	167.149	236.751	144.700		
翌年度繰越額 (f)	97.001	105.550	308.810		
うち未契約繰越額 (g)	93.375	100.150	137.823		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	35.3%	29.3%	30.4%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	当初予定していた終末処理場用地の取得が所有者の反対により困難となり、代替地の取得に不測の日数を要したため	終末処理場土木工事において土質状況の変化に伴う施行能率の低下により不測の日数を要し、関連する工事が遅延したため	終末処理場建築工事において構造再計算に不測の日数を要し、関連する工事が遅延したため		

※ 平成28年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本総合整備計画)



社会資本整備総合交付金 チェックシート

計画名称 弘前市における循環のみちの実現(重点計画)

都道府県名 青森県弘前市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
<p>上位計画に基づき弘前市公共下水道事業計画を策定し、事業促進を図っていることから整合している。 また、下水道事業計画による事業計画面積4,029haのうち、平成28年度末までに約3,604haが整備されており、今後も引き続き整備促進を図る。</p>	
②地域課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
<p>地域の要望に基づいた整備計画を立てており、地域住民の生活環境改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画により目標値を設定している。</p>	
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
<p>整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定しており整合している。</p>	
②定量的指標の明瞭性	○
<p>定量的指標は、当市の下水道の普及状況を量的に捉えており、未普及解消に適した指標である。</p>	
③目標と事業内容の整合性	○
<p>長期的な整備計画を立て、目標達成に向けて計画的に事業進捗を図っている。</p>	
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
<p>整備計画を総合的に進めることにより、市全体の汚水処理人口普及率の向上と、地域住民の生活環境改善及び公共用水域の水質保全を図る。</p>	
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性)	○
<p>地域毎に住民説明を行うなどし、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。</p>	
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○
<p>他事業である集落排水事業、個人設置型合併処理浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指している。 また、下水処理場施設見学や河川清掃美化運動などにより、下水道の啓発活動も行っている。</p>	